

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きりしま総合発達支援センター 保育所等訪問支援つくし		
○保護者評価実施期間	令和 6年 10月 29日		～ 令和 6年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和 6年 10月 11日		～ 令和 6年 10月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○訪問先施設評価実施期間	令和 6年 11月 1日		～ 令和 6年 11月 30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6年 12月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・面談の時間を作り、訪問先や保護者へ説明を行っている	・利用者の状況に応じて、頻度を調整している ・時間にゆとりをもって、情報を多く頂くようにしている	・フィードバックを1ヶ月単位で決める
2	・訪問支援特別加算や多職種連携を算定出来るスタッフが訪問を行っている	・児童発達管理責任者も同行している事が多い ・現場で困っている事の引き出しを持つように自己研鑽している	・色々な人が訪問できるようにする ・自閉症支援、LDなどへの助言や指導が出来るようにさらに学習を進める
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・他部署と兼務しながら行っているスタッフが多いので、時間的制約がある	・色々なニーズの利用者がいる為、関わる職種が多くなる ・訪問支援を経験したスタッフが少ない	・色々な人が訪問出来るよう体制を作る
2	・中学、高校と学年が上がってくると助言出来ることが少なくなる	・環境調整など、園や小学校以外では経験が少ない ・思春期、不登校の支援は、訪問支援だけでは難しい	・環境調整、中学校、高校のシステムなどを学ぶ ・放課後等デイサービスとの連携
3			